

楽落くん NEO デンエモン 100m 資材セット 設置説明書

楽落くん監修：埼玉県農業技術研究センター 生産環境・安全管理研究担当 鳥獣害防除研究チーム

このたびは「楽落くん NEO デンエモン 100m資材セット」をお買い上げ頂き、ありがとうございました。設置説明書をお読みいただき、正しく設置してください。

ハクビシン、アライグマ、タヌキなどの中型動物被害対策として、被害にあう時期（スイートコーン・イチゴ・スイカなど）にだけ設置するタイプの電気柵を開発しました。「登る」のが得意なアライグマやハクビシンなどに対し、絶妙な高さの柵で感電するよう誘導します。

【対象動物】

アライグマ・ハクビシン・タヌキ・アナグマ（※）など中型動物、イノシシ

※加害獣がアナグマの場合、被害発生後の設置では効果がありません。

【設置説明書内の使用画像について】

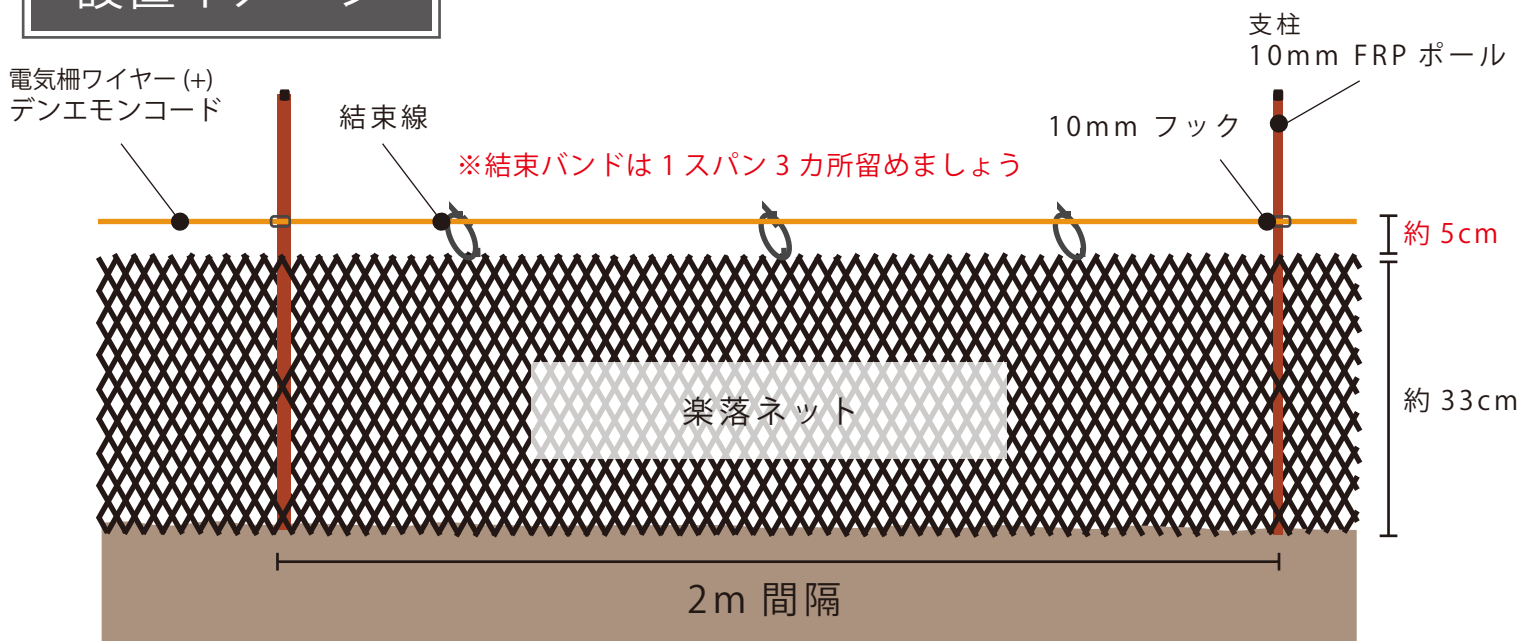
本設置説明書内、一部旧仕様の資材画像を使用している箇所がございます。

新仕様の資材は次ページの画像を参照ください。

また、旧仕様からの変更点は以下となります。

- ・楽落ネット：(旧) 角目 → (新) 菱目
- ・10mm FRP ポール：(旧) 茶色 → (新) 黒色

設置イメージ



※イラストはイメージです。わかりやすくするため縮尺は正確ではありません。

詳しい設置方法は中面をご確認ください。

セット内容

お手元に資材が揃っているか、内容のご確認をお願いします。

	商品画像	商品名	数量
		楽落ネット (幅：約 33cm / 長さ：50m)	2 巻
【電気柵関連資材】デンエモン1003セット梱包内に同梱		デンエモン 2 (電気柵本機) ゲッターアルカリ電池 12V ※デンエモン 2 本機内にセットします。	1 台 1 台
		デンエモン用アース棒	1 本
		10mm FRP ポール (直径：約 10 mm / 長さ：約 90 cm)	60 本
		デンエモンコード (200m) ※楽落くん 100m に使用するデンエモンコードは 100m です。 余ったコードは断線時や延長などの予備として保管してください。	1 巻
		10mm フック	60 個
		デンエモンゲート ※楽落くん設置には使用しませんが、電気柵のみで使用する際にゲートとしてご利用ください。	2 個
		パルスチェッカー	1 個
		危険表示板	2 枚
		結束バンド (150mm)	200 本

楽落くんをを張る前の準備

柵を張る位置の外周を測り、設置計画を立てます。

- ▶ 柵の外側に、人が歩いて通れる管理道を必ずつくってください。畑の境界ぎりぎりの柵は、設置しても侵入されやすくなります。
- ▶ 中の作物と柵の間は最低50cm以上離してください。
- ▶ 通電線に当たって漏電しないよう、雑草は刈っておいてください。
- ▶ ネットと地面にすき間ができないよう、あらかじめ凹凸をならしておきます。

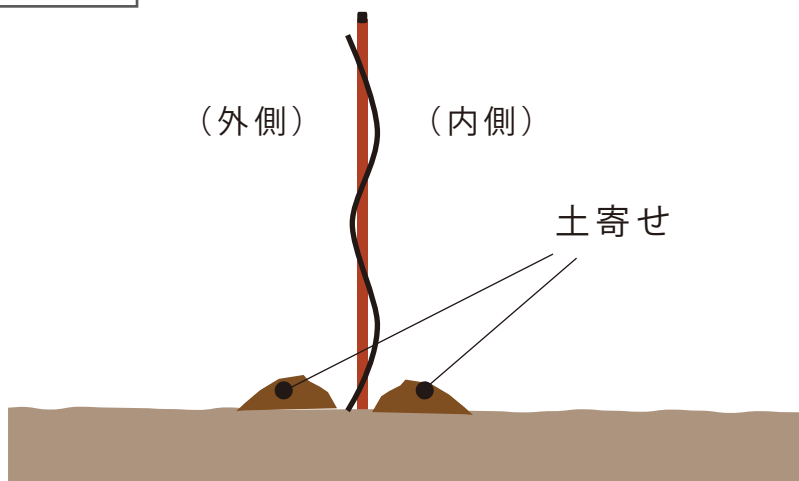
CHECK!



すき間ができないようにネットを張ることが重要です！

侵入しようとする中型動物は、まず、すき間を探して入ろうとします。地面を平らにならしてネットを張り、すき間をなくして設置することがとても重要です。また、ネットを張り終えた後には、ネット下部に土寄せをして、徹底的にすき間をなくしましょう。

断面イメージ



設置方法

① ネットを伸ばします。

柵の設置予定地に楽落ネットを伸ばします。



② 支柱にフックを取り付けます。

支柱を打ち込む際にハンマーなどで直接たたくと、上部が潰れてしまう場合がありますので、打ち込み前に支柱にフックを取り付けます。



③ ネットに支柱を差し込んで、支柱を打ち込みます。

支柱の間隔は 2 m を目安にします。
角は 2 本の支柱で補強してください。

ネットへ支柱を差し込む手順は P4 をご確認ください

CHECK!



ネットの向きにご注意ください！

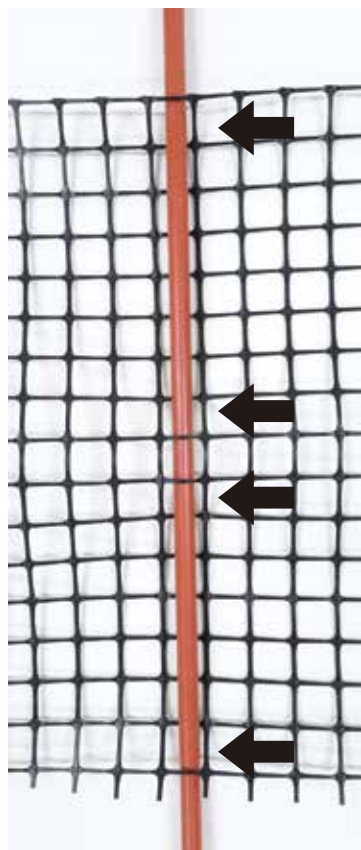


内側
(農作物)

外側

楽落ネットには裏表があり、ロールの内側に向かってまるまる性質があります。そのため、柵の外側、つまり動物が侵入してくる側に、ネットの内側がくる（**ネットの反りが柵の外側を向く**）ように設置します。
ネットの反りを外側に向けることで、忍び返しの効果が発生します。

ネットへ支柱を差し込む手順



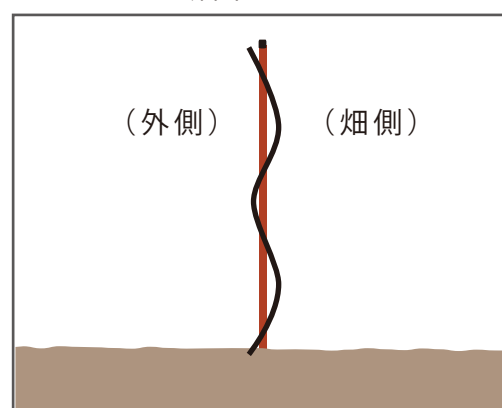
一番上の差し込みは、ネットの1マス目に差し込みます。
(ネット表から裏へ差し込みます)

次に、真ん中のあたりに差し込みます。
(ネット裏から表へ)

上記の2マス下に差し込みます。
(ネット表から裏へ)

一番下は、下から1マス目に
差し込みます。
(ネット表から裏へ)

▼ 断面イメージ



※埼玉農業技術研究センター発行「楽落くん設置マニュアル ver2.5」内では
《一番下は、下から3段目》と記載がありますが、正しくは《一番下は、下から1段目》となります。

CHECK!

ネットのつなぎ目は支柱で固定

ネットのつなぎ目は、ネットとネットを
重ね合わせ支柱で固定します。

結束バンドを使用して固定しても問題
ありません。

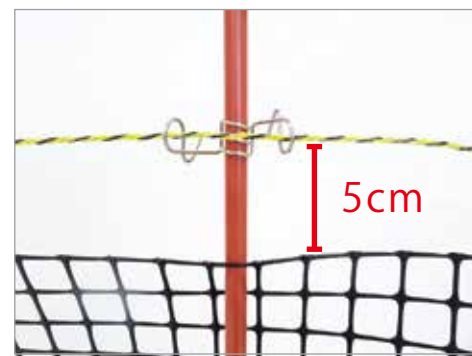
しっかりと固定することが大切です。

角は支柱2本でしっかりと固定



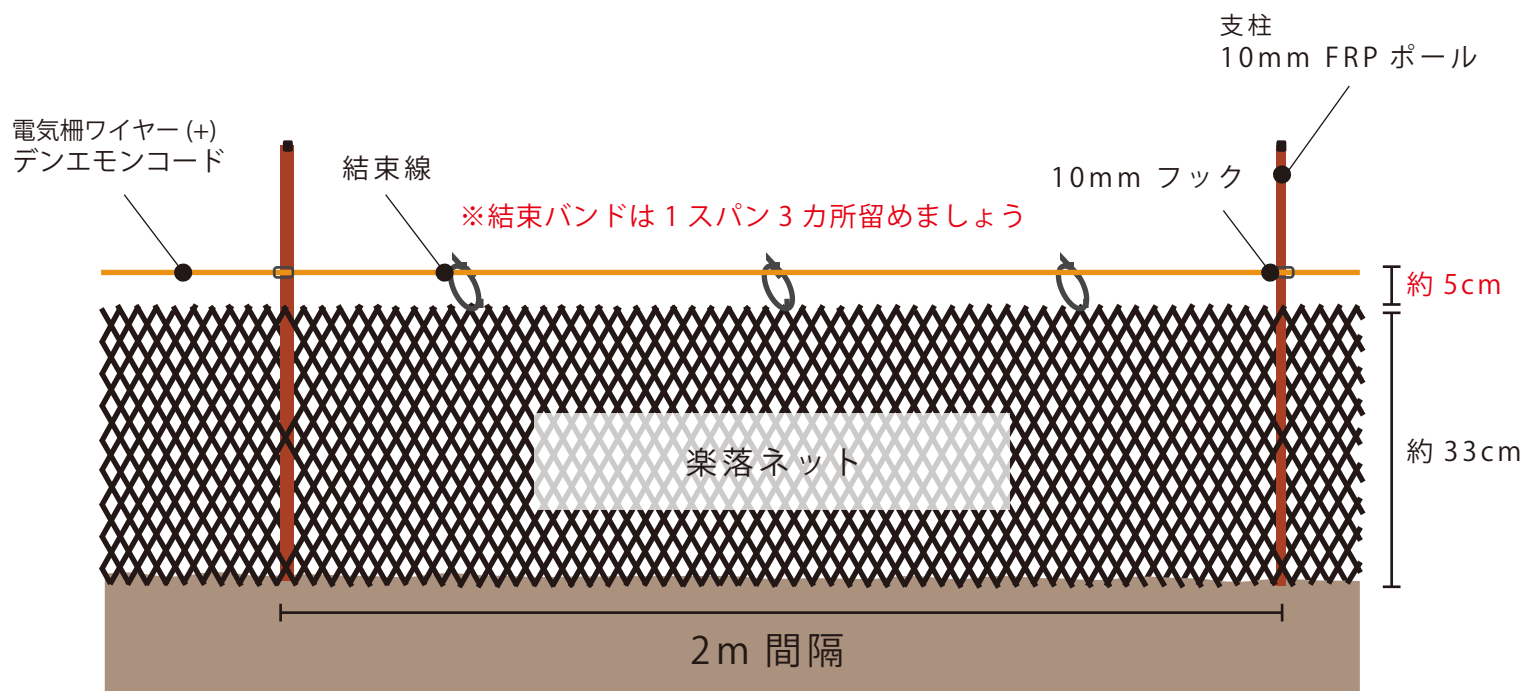
④ 電気柵ワイヤーの設置

電気柵ワイヤーをフックに取り付けます。
ネットと電気柵ワイヤーの間は 5 cm にしてください。
※5 cm より広いと隙間からもぐられてしまいます。



⑤ 結束バンドの設置

結束バンドで支柱間を3カ所程度、約50 cm程度の間隔で設置します。
ネットと電気柵ワイヤーの距離が約5 cmに保たれるように、固定してください。



※イラストはイメージです。わかりやすくするため縮尺は正確ではありません。

⑥ 電気柵本機の設置 (本機・アース・危険表示板など)

電気柵本機「デンエモン」を、柵の内側に設置してください。
(外側に設置すると動物の足場となる場合がありますので注意してください)
電気柵の設置につきましては、別途『デンエモン取扱説明書』をご確認ください。

楽落くん NEO 設置の注意事項

1 被害が出る前に設置！

- ・餌となる食物を一度でも食べさせると、アナグマなどは執着して入ろうとします。初めてできた障害物（電気柵）を見た動物が、それが安全なものなのかを探查する時に、いかに感電させられるかがポイントです。電気柵は痛みを学習してはじめて効果を発揮します。
- ・設置初期には、動物が柵線に触れたショックで逆に柵内に飛び込んでくることもあります。
- ・被害が発生してからの設置では十分な効果が得られない場合があります。特に、加害獣がアナグマの場合、被害発生後の設置では効果がありません。

2 設置した日に必ず通電！ 電池切れに注意！ 収穫終了後も、柵を片付ける日まで24時間通電！

- ・動物が探查したときに感電しないと、「電気柵は危険だ」と認識しなくなる場合があります。そのため、設置当日に必ず通電してください。後からの通電は効果がありません。
- ・「収穫物がないから」といって通電していないと、柵に慣れて次作や翌年作で柵の効果がなくなる場合があります。動物は明け方や夕方でも動きます。スイッチを「昼夜切り替え」にすると、時間帯によっては動物の侵入時に通電していない場合があるため、24時間通電しましょう。
- ・「いつのまにか電池が切れていた」では手遅れになります。定期的に電池交換をし電池切れがないようにしましょう。
- ・電気柵を設置している間（期間）は絶対に電気柵本機の電源を切らないでください。
- ・収穫終了後、電源を切る際には全体を撤去してください。やむを得ず撤去できない場合でも柵線だけは必ず撤去してください。

3 漏電しないよう、雑草管理はこまめに！

- ・柵線に雑草が当たっていると、漏電して電圧が下がり、電気柵の効果がなくなります。雑草以外にも栽培している作物のツルや葉も、柵線に触れている場合があるので注意してください。
- ・収穫が長期間にわたる場合は特に注意し、定期的に設置場所の見回りをしましょう。

4 こんなところが狙われています！

- ・5cm以上の隙間は注意が必要です。隙間が広がっているところは狙われています。

▼水路の隙間



▼傾斜地の隙間

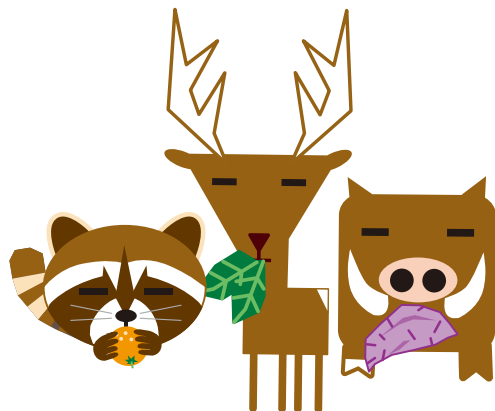


▼排水溝・排水管



画像：埼玉県農業技術研究センター

注意事項を守って効果のある設置をしましょう！



鳥獣被害対策商品の総合サイト

鳥獣被害対策.com

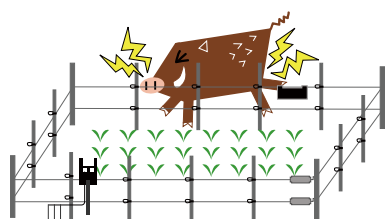


野生動物の被害を防ぐ対策用品を買うならココ！

イノシシ対策に有効な電気柵や防護柵、箱わな・トレイルカメラ等、獣害対策用品300点以上の品揃え！信頼できる製品を行政や教育機関へ年間200件以上の納品実績！野生生物の専門家による圧倒的な情報量と商品ラインナップで、被害にあっているお客様に安全と安らぎをお届けします。

動物被害を防ぐには？

● 電気柵・金属柵で防ぐ



● 自動撮影カメラで観察



● わなで捕える



お問い合わせ

鳥獣被害対策商品の総合サイト

鳥獣被害対策.com

<https://www.choujuhigai.com/>

運営会社／（株）地域環境計画

☎0120-449-106

FAX：03-5450-3702

電話受付／10：00～12：00・13：00～15：00

定休日／土曜日・日曜日・祝日